

あわら市をより豊かに!

あわら市議会議員

青柳 あつし

市政報告 Vol.004

ご挨拶

夏本番を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年は過去最も早い梅雨明けとなりました。暑い日がまだまだ続きますが、熱中症にはくれぐれもご注意ください。

さて、6月定例会では給食費を半額にする議案などが可決されました。9月からは、材料や光熱費の高騰による給食費の値上げ(300円)を行った上で、半額になります。あわら市をより子育てがしやすい環境に!財源の確保などの現実的な問題も視野に入れながら、実現に向けて力強く歩んでいきたいです。これは私も強く実現したいことです。しかし、財源をどう確保していくのかは常にテーマとして残ります。

また、今回の一般質問では「全体最適化」を題材に、デジタルを活用した「スマートシティ」あわら市の未来について質問しました。子育て世代が考える全体最適化とは何なのか!より3世代が揃ってより生活しやすいあわら市に向けて、今後も全力で取り組んでまいります。

最先端企業への訪問

あわら市の未来をより良くするためのヒントを得るために、多くの企業訪問を行っています。デジタルをキーワードに、スマート農業、デジタルヘルス、通信、データなどのITテック系企業を中心に訪問し、先端技術を体感し、勉強させていただきました。先端技術は、異なる分野と分野をつなぎ、新しい世界を開拓するツールです。そして、同じ目標を持つ人と未来を共有することで、役割や地位に関係なく本音で語り合うことができ、次の挑戦へと繋がります。見たことのない景色を見たい。人生、学び続けることがなにより大切です。自分にとっていい機会を逃さないように日々頑張ります。



6月議会 一般質問の裏側

スマートシティの実現に向け、 現在の進行状況と今後の展望について

2
青柳
篤始

- スマートシティとは、全体最適化が図られ継続可能な都市を実現するという概念を基に推進されていくものである。あわら市における現在の取り組み状況はどうなっているのか。また、今後の展望をどのように描いているのか。



あわら市のデジタル化を前進させる

「あわら市をデジタル化の先進市にしたい」思いから一般質問をさせていただきました。

デジタル化は市民のみなさんの電子機器の活用や、役所内での業務効率化などと、非常に広範囲な内容を含むものでもあります。一般質問で与えられる 25 分間では踏み込んだ内容までは質問できませんでしたが、関係する多くの理事者を巻

き込んだ形でみなさまに全体像をご覧に入りたい。そういう気持ちで臨みました。

少し詰め込みすぎた部分や、省略しすぎた部分など反省点は多く残りますが、デジタル化への提案は私の最も得意な分野であると自負しています。今後の一般質問では、さらに踏み込んだ質問を行っていく予定です。



デジタル化が何故必要なのか

デジタル化によってもたらされる恩恵は多く、中でも生産性の向上や自動化には特に目を奪われがちです。しかし本当のデジタル化の恩恵は結果ではなく、そのプロセスにあります。デジタル化の推進には、まず現在行っている内容の可視化を行い、課題点を洗い出すことが重要です。この洗い出しを正しく行うことができなければデジタル化は成功しません。

その上で未来をどう描いていくかが、将来の発展につながるカギとなります。

デジタル化は私には関係ない。私はデジタル化の恩恵を受けられない。そう思われる方もいらっしゃると思います。直接的には恩恵を受けられなくとも、多くの業務やプロセスが効率化されていけば、その恩恵は間接的に受けられることになります。



デジタル化で見える未来

デジタル化が進むと、これまでと形態が大きく変わる分野が出てきます。その中でも代表的なものが医療です。現在は、風邪などの症状があったときに病院に行く治療医学が中心ですが、24時間健康状態をチェックできる（ウェアラブル）端末などが進化・普及することにより、今後は予防医学が中心になると予想されています。

その中核を担う存在がAIです。「明日は体調を崩す可能性があります。」「今日は〇〇時間睡眠を取ることをおすすめします。」などと、AIは予測してアドバイスしてくれるのです。何故このようなことが予測で

きるようになるのでしょうか？

それは、AIが「比較する」ことを得意としているからです。24時間健康状態をチェックすると、膨大なデータが集まります。AIはその膨大なデータの中に潜んでいる異常値を見つけ、これまで集めたデータや、世界中から集めたデータと瞬時に比べることができるのです。

AIのこの特性は、医療のみならず、多くの分野で利便性やサービスの向上に活かすことができます。AIを活かしてデジタル化を進めることで、未来はより現実に近づいていくでしょう。



どう前進させるか

デジタル化を進めるには、幅広い知識と先を見る力が必要になります。そのため、市長・職員・議員だけでデジタル化を推進していくことは不可能で、先端企業との連携が必要です。まずは多くの先端企業との話を聞く場を設けることで下地を作り、様々なものを吸収して次の機会に繋げなければいけないと思っています。

また、先端技術を導入するためには、企業や国の支えが必要不可欠です。私たちが聞く機会を多く設けることにより、

協力してくれる企業も現れてくるかと考えています。

今後はみなさんにデジタル化についてもっと理解していただくため、スマートフォン教室のように、身近な所でみなさんを手助けする役割を担っていかないといけないと思っています。あわら市と共に色々なことに挑戦し、より便利に、そしてより良い生活が送れるように考え提案していきたいと思っています。

【今後の活動】

スマートフォン教室
マイナンバーカードの普及
デジタル基幹システムの構築
庁舎内のデジタル化促進



一般質問の全文はホームページに掲載中。YouTubeでもご覧いただけます。



一般質問全文



YouTube





稲田朋美先生と衆議院議員会館にて



早朝街頭指導



ふるさと納税のヒントに



視察



商工会総代会



交通安全協会総会



銀座アンテナショップ視察



菅原修之県議と 同級生コンビです。

タブレット議員研修会



5月中旬より4回に分けてタブレット議員研修会の講師役を務めさせていただきました。電源の入れ方から模擬議会まで、みなさん真剣に取り組んでいただけました。また、講習のビデオを、繰り返し見たという議員さんもいらっしゃいました。議員それぞれの努力によって、議会のデジタル化が進んでいます。今後も歩みを止めないよう、情報公開やデジタル化の分野で他の市町をリードできるように、取り組んでまいります。

7月1日から自転車保険の加入が義務化されています。

10月北潟湖サイクリングイベント開催決定
詳しくは市役所生活環境課まで

編集後記

最近、自転車ロードバイクで走るようになりました。やはり無心になって風を切るのは気持ちがいいですね。若い頃のようには走れませんが、健康や体力維持のために今後も続けます。一緒に走ってくれる方がいらっしゃいましたらご連絡お待ちしております。

